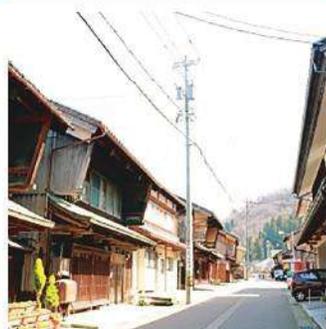
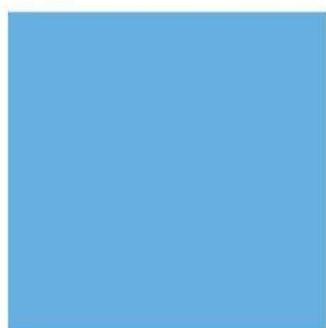


第 2 次
南越前町
総合計画



後期基本計画
2020~2024



目次

総論

第1章 総合計画の策定にあたって.....	2
第2章 町のすがた.....	4
第3章 関連する個別計画.....	17

基本構想

第1章 町の将来像.....	20
第2章 計画の基本指標.....	24
第3章 土地利用構想.....	26

後期基本計画

第2次南越前町総合計画 後期基本計画体系図.....	30
----------------------------	----

第1章 町民に優しいまちづくり

1 健康な心と体づくり、保健・医療・福祉・介護の連携の強化と充実.....	34
2 地域で暮らせる高齢者福祉の充実.....	42
3 自立を支援する障害者福祉の推進.....	45
4 子育ての支援、児童福祉の充実と次世代育成.....	48
5 協力し助け合う地域福祉の推進.....	54

第2章 安全安心して暮らせるまちづくり

6 安全安心な環境づくり.....	58
7 道路交通網の整備.....	68
8 上下水道の整備.....	72
9 自然環境との共生.....	76
10 快適な住環境づくり.....	80

第3章 生き活きと働けるまちづくり

11 農林水産業の振興.....	88
12 商工業の振興.....	94
13 観光の振興.....	96

第4章 人と文化を育むまちづくり

14 豊かな人間性を育む教育の充実と環境の整備.....	102
15 生涯にわたる学習社会の充実.....	114
16 歴史文化の継承と芸術文化の振興.....	118

第5章 住民主体のまちづくり

17 住民と行政の協働によるまちづくり.....	124
18 共に活躍できる人づくり、まちづくり.....	128

第6章 効率的な行財政運営によるまちづくり

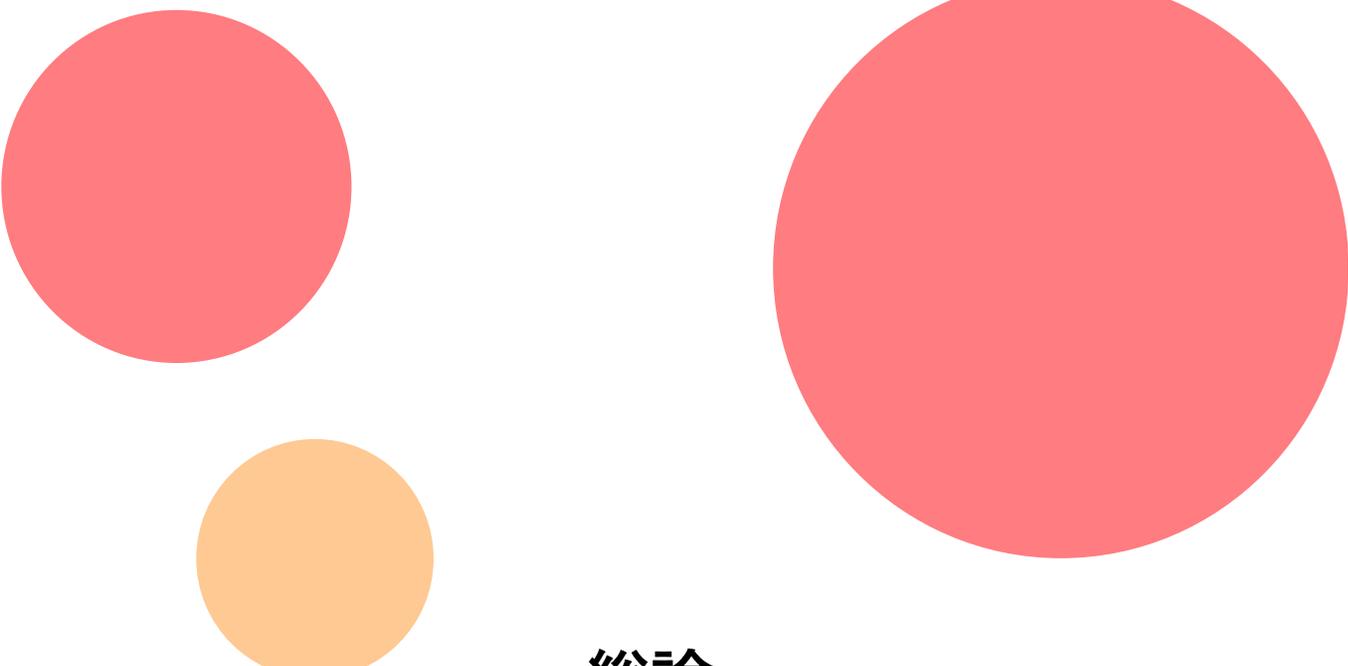
19 住民の視点に立った行政サービス.....	136
20 効率的な財政運営の推進.....	140
21 チャレンジする組織改革.....	146

未来づくりプログラム

(1) 地域をささえる.....	152
(2) 地域のつながり.....	153
(3) 地域のにぎわい.....	154

参考資料

■ 総合計画策定にかかる諮問・答申の写し.....	156
■ 南越前町総合計画策定条例.....	159
■ 南越前町総合計画審議会条例.....	160
■ 第2次南越前町総合計画 後期基本計画審議会委員名簿.....	161
■ 第2次南越前町総合計画 後期基本計画策定の経過.....	162

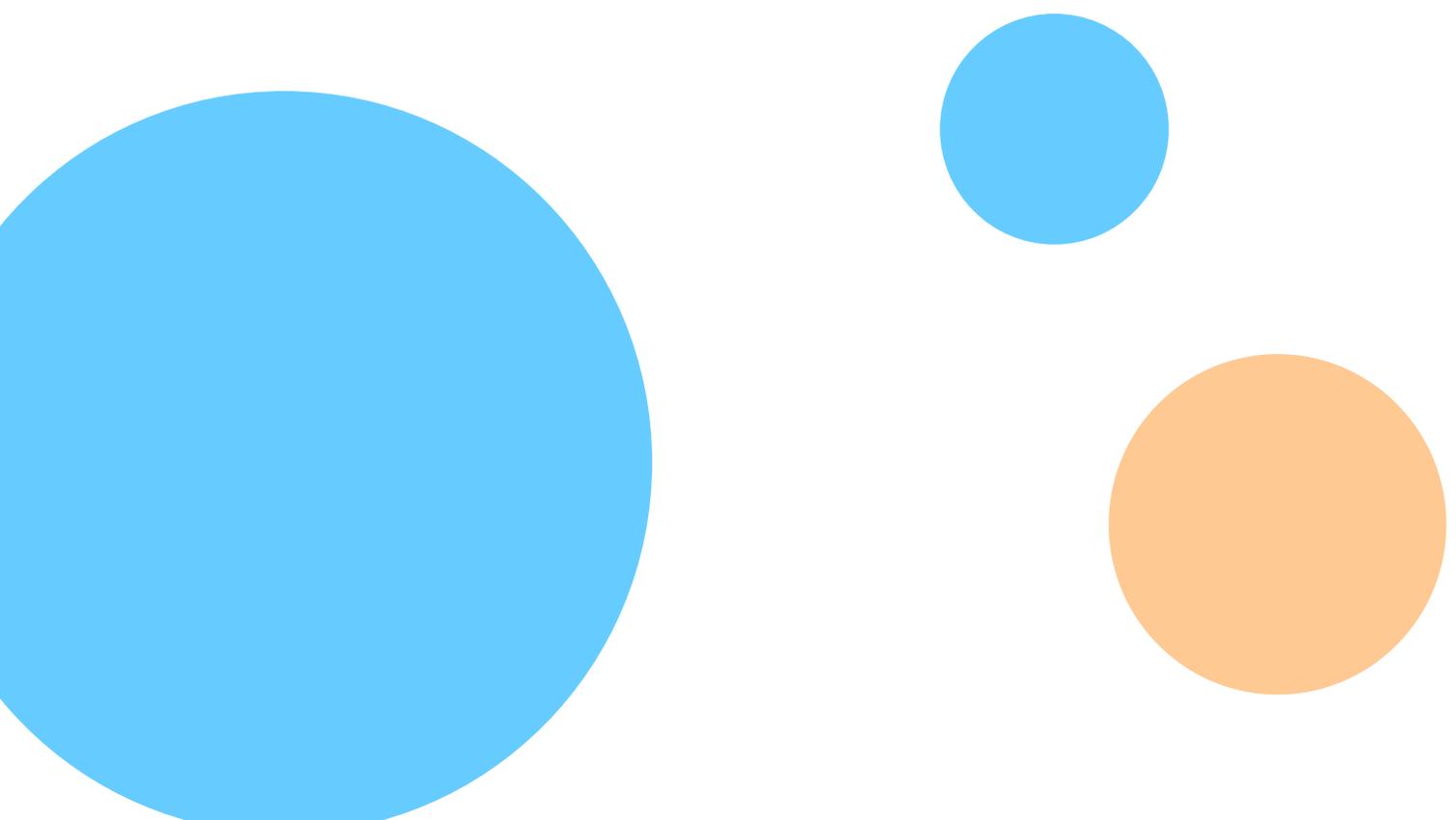


総論

第1章 総合計画の策定にあたって

第2章 町のすがた

第3章 関連する個別計画



第1章 総合計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本町では、平成27年度より、第2次南越前町総合計画に基づき、住民の誰もが豊かに暮らすことができる環境づくり、条件づくりに向け、総合的に施策を展開してきました。

平成27年度から令和元年度の5年間に実施した施策の検証を行い、必要な見直しを図るとともに、社会経済情勢の変化等にも柔軟に対応するため、新たな施策の展開が必要です。

基本計画は、令和元年度で前期の期間を終えることから、基本構想に掲げた町の将来像である「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」の実現に向けて、引き続き令和2年度以降の5年間で取り組むべき方向性を示した後期基本計画を策定します。

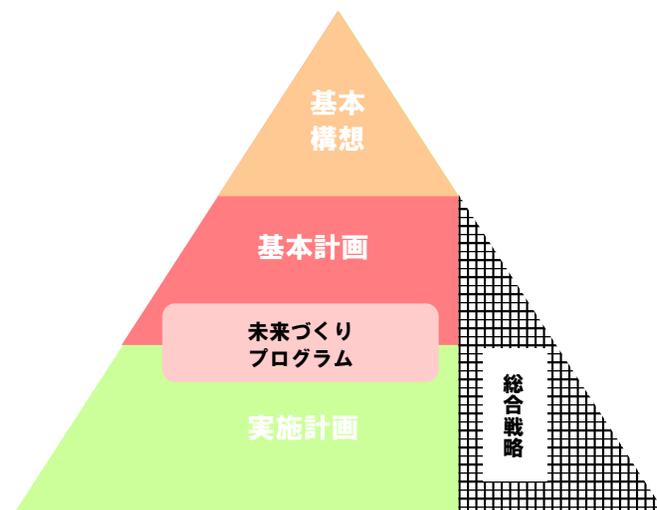
なお、本計画では、施策・事業の中で特に戦略的に取り組むものについては、施策・事業の垣根を越えた「未来づくりプログラム」と位置づけ、総合的かつ計画的に施策を推進します。

2 計画の名称

この計画の名称は「第2次南越前町総合計画 後期基本計画」とします。

3 計画の全体像

本計画は、平成26年に施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少克服・地方創生の目的を達成するための目標や具体的な施策を示した「南越前町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という）との整合を図り、重点的かつ効果的な取組を進めます。



4 計画の構成と期間

この計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」により構成しています。

基本構想⇒基本計画⇒実施計画⇒予算編成方針⇒事業実施の順で、より具体的な取組内容となります。

基本構想	<p>第1次南越前町総合計画の基本理念を継承し、地域発展に向けた指針と、真に豊かなふるさと「南越前町」の実現に必要な将来像を示します。</p> <p>【計画期間】 10年／平成27(2015)年度～令和6(2024)年度</p>
基本計画	<p>基本構想に定めた将来像を実現するため、6つの基本目標ごとに体系的に施策を示し、「目標実現のために取り組むこと」を定めます。</p> <p>特に戦略的に取り組むものについては、「未来づくりプログラム」と位置づけ、将来像と基本目標の達成を目指します。</p> <p>【計画期間】 5年／後期基本計画…令和2(2020)年度～令和6年(2024)年度</p>
実施計画	<p>基本目標を実現するために、具体的な事業を示します。</p> <p>【計画期間】 5年間の計画期間を設け、1年ごとに「計画の実行」→「分析・評価」→「計画の修正」→「実行」というサイクルを繰り返します。</p>

<総合計画の構成と計画期間>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基本構想（10年間）									
前期基本計画					後期基本計画				
実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画

実施計画は、5年間の計画期間を設け、1年ごとに「計画の実行」→「分析・評価」→「計画の修正」→「実行」というサイクルを繰り返します。

第2章 町のすがた

1 地勢

■位置・地勢

本町は、福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置し、北は越前市、越前町と池田町、東および南は岐阜県・滋賀県、西は敦賀市と日本海に接する海・山・里の地形の変化に富んだ自然豊かな町です。

町土面積は福井県全体の8.2%にあたる343.69km²を有します。

地形は極めて急峻であり、総面積の約92%が山林で占められ、海岸部は標高差200～300m平均斜度35度の甲楽城断層と呼ばれる断層海岸となっています。冬は越前加賀海岸国定公園^{*}にも指定されている海岸線一帯に、凜と咲く可憐な越前水仙の花が咲き誇ります。

また、田倉川や鹿蒜川等が合流した日野川が町の中央を南北に流れ、河川沿いに田園風景が広がります。

■気 候

気候は、平野部と山間部、海岸部とで大きく異なります。平野部は、内陸型で比較的温かい気候ですが、山間部は寒暖の差が激しく、県下有数の多雪地帯で、昭和51年には特別豪雪地帯（今庄地域のみ）に指定されています。

一方海岸部では、対馬海流の影響により温暖な気候で、積雪はほとんどありません。

^{*}越前加賀海岸国定公園（延長：108 km／全体面積：9,794ha）

石川県加賀市から福井県敦賀市までの海岸線を中心に指定された国定公園で、甲楽城断層を境とした隆起海岸のため、海蝕崖や奇岩が多くみられる。

交通

道路は、北陸自動車道や国道8号、国道365号といった北陸地方と関西・中京方面を結ぶ動脈となる道路が町の南北を縦走し、北陸自動車道今庄インターチェンジ、南条スマートインターチェンジおよび南条サービスエリアが設置されており、周辺地域への広域高速交通の利便性が確保されています。

福井県の嶺北地方と嶺南地方を結ぶ国道476号は、本町と敦賀市を結ぶ木ノ芽峠トンネルが平成16年3月に開通したことから、嶺南地域との交通の利便性が飛躍的に向上しました。さらに、平成26年7月に全線開通した舞鶴若狭自動車道による関西方面との交流が活発化しています。

国道305号は、合併後の町の最重要施策であったホノケ山トンネルが平成25年11月に開通したことから、町内の道路ネットワークが向上し、北陸自動車道今庄インターチェンジや南条スマートインターチェンジと越前海岸とのアクセスが飛躍的に向上しました。ホノケ山トンネルの開通は、地域間の連携をさらに深めるとともに、観光、産業の振興、さらに地域防災、行政運営等さまざまな面において大きな役割を果たしています。

また、越前加賀海岸国定公園に指定されている海岸線に沿って、主に観光道路として利用されている越前・河野しおかぜラインが、国道305号や県道大谷杉津線と連絡し、敦賀市との間を結んでいます。



町内主要道路・鉄道図

鉄道は、ＪＲ北陸本線が幹線道路と同様に南北に縦走し、町内には南条、湯尾、今庄、南今庄の４駅が設置され、福井市・越前市方面や敦賀市方面に向かう通勤通学をはじめとする日常生活に欠かせない役割を果たしています。

路線バスは、河野地域と越前市を結ぶ民間の路線バスが運行されています。また、地域内における公共交通として、住民利用バスを７路線運行しています。



地域公共交通網図（路線バスを含む）

※施設管理者が運行している施設利用者専用の送迎バスは除外。

■ その他の社会的条件

特筆すべき本町の社会的条件としては、「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」において、原子力発電施設等立地地域に指定されています。これらを踏まえたうえで、災害対策基本法および原子力災害対策特別措置法に基づき南越前町地域防災計画〈原子力災害対策編〉を策定し、総合的かつ計画的な原子力防災事務と業務の遂行により、住民の生命、身体、財産を原子力災害から保護するよう努めています。

2 歴史とあゆみ

■ 歴史

平安時代に敦賀から木ノ芽峠を越える「北陸道」が開かれ、近世には栃ノ木峠越えの「北国街道」が整備されるなど、都と北陸を結ぶ陸路の玄関口でした。南北朝時代には、杣山に「瓜生保」が居城するなど戦略上の要衝であったとともに、今庄や鯖波、脇本には本陣が置かれるなど宿場町としても賑わいました。

また、海路は中世に敦賀湊と河野浦等が結ばれ、江戸時代中期から明治時代中期にかけ、蝦夷地（北海道）をはじめとした日本海諸港と瀬戸内・大阪を西廻り航路で往来した「北前船」によって、廻船業が栄えました。

明治19年に、白崎村から春日野トンネルを経て具谷、大谷を抜け、当時の敦賀郡旧東浦村に通じる旧国道8号である春日野道が完工され、それまで嶺北と嶺南の分水嶺であった木ノ芽峠に代わり、両地域の交流の主軸となりました。

明治29年には、町の中央の日野川に沿うように国鉄北陸本線が開通し、今庄駅には機関区が置かれ、「鉄道のまち」として賑わいをみせましたが、昭和37年の北陸トンネルの開通と複線電化により、今庄機関区はその役割を終えました。

昭和43年には、河野海岸線一帯が「越前加賀海岸国定公園」に指定されたことにより、風光明媚な海岸線と、越前ガニや越前水仙等を求めて多くの観光客が訪れるようになりました。

昭和52年に北陸自動車道が開通し、福井県内で唯一、南条サービスエリアが設置されるとともに今庄インターチェンジが開設され、地域経済の発展や余暇活動の活発化等に影響を与えました。

昭和60年には杣山荘、平成2年には今庄365スキー場がオープン、次いで今庄サイクリングターミナルの改築や今庄365温泉やすらぎ、花はす公園が完成し、観光客が増加しました。

平成6年には道の駅河野が開設され、翌平成7年には杣山荘が花はす温泉そまやまとしてリニューアルしています。

■ あゆみ

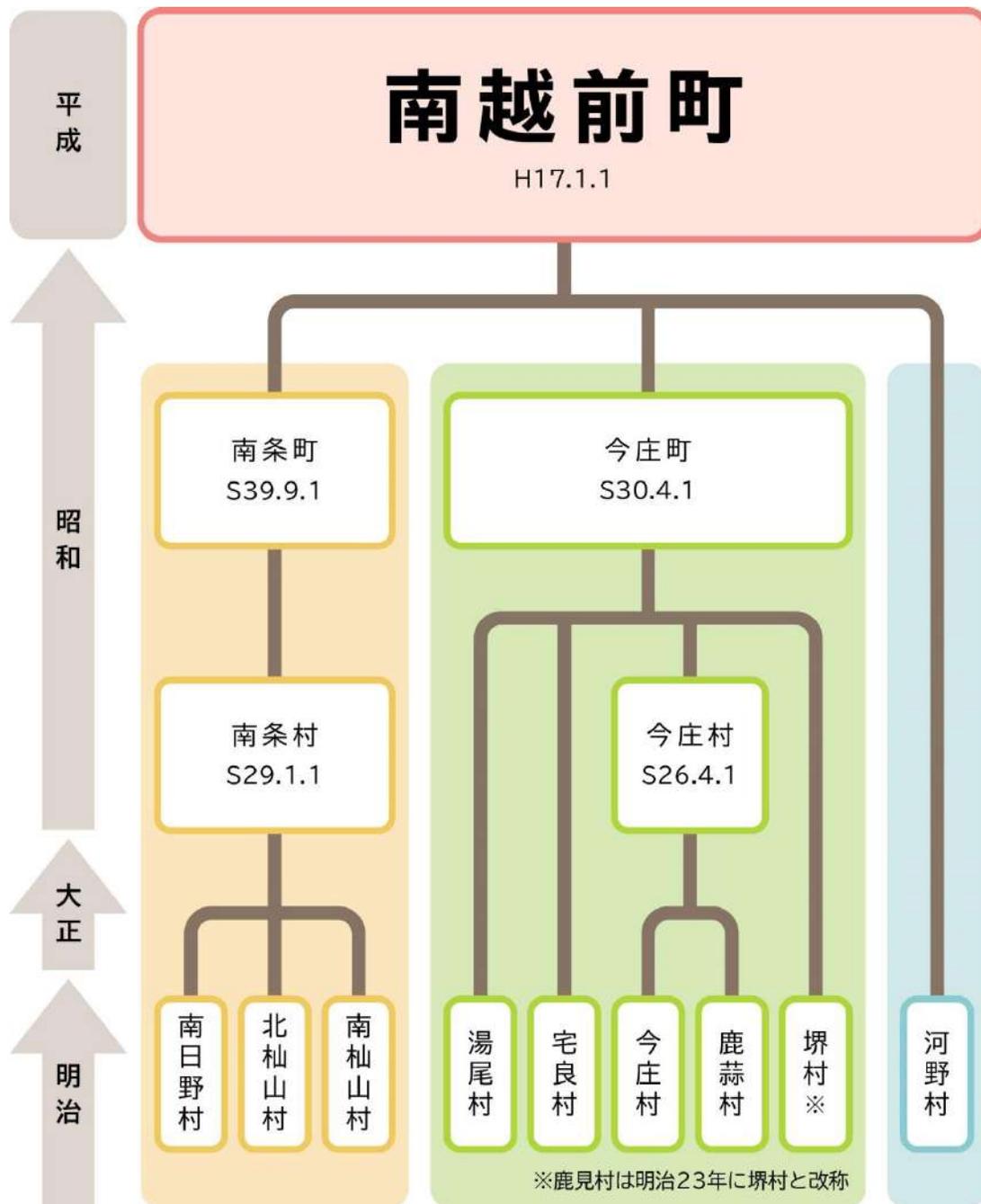
市町村合併の変遷は、明治22年、市制町村制の制定により、現在の南越前町を構成することになる南日野村、北杣山村、南杣山村、湯尾村、宅良村、今庄村、鹿蒜村、堺（鹿見）村、河野村が誕生しました。

その後、昭和26年に今庄村と鹿蒜村が合併し今庄村となり、昭和29年には南日野村、北杣山村、南杣山村の3村が合併し南条村が誕生しました。

昭和30年には湯尾村、宅良村、今庄村、堺村の4村が合併し今庄町となり、南条村は昭和39年に町制を施行し、南条町となりました。

平成17年1月、南条町、今庄町、河野村が合併し、「南越前町」が誕生しました。

< 町村合併の経緯 >



<南越前町の誕生からのあゆみ>

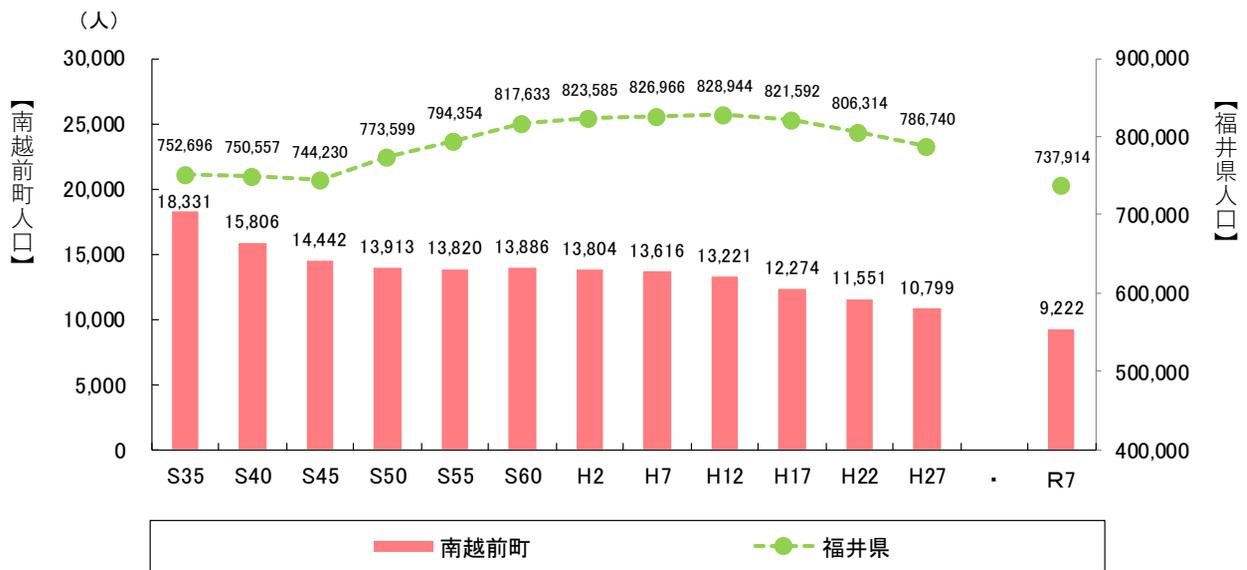
平成17年	1月 1日	南越前町誕生
	1月 9日	南越前消防団発足
	2月13日	初代町長に増澤善和氏就任
	4月10日	南越前町誕生記念式典挙行
	9月 2日	榎谷ダム完成
	11月24日	岐阜県羽島市と友好提携盟約調印
平成18年	3月19日	町民指標発表（第1回南越前町まちづくり大会）
平成19年	3月20日	第1次南越前町総合計画策定
	4月 9日	河野小学校体育館落成
	7月 3日	皇太子殿下ご来町「北前船主の館 右近家」ご視察
	8月29日	今庄小学校落成
平成20年	4月26日	南越前ダイビングパーク完成
平成21年	2月13日	第二代町長に川野順万氏就任
	3月23日	今庄なないろこども園落成
	12月 1日	南越前町ケーブルテレビ地上デジタル放送開始
平成22年	3月28日	南条スマートインターチェンジ上り下り双方向供用開始
平成23年	1月31日	観測史上最大の積雪を観測（今庄地区最深積雪 244 cm）
平成24年	2月29日	役場庁舎別館耐震大規模改造工事完成
	3月31日	河野児童館落成
平成25年	2月13日	川野順万氏町長再選
	2月15日	役場庁舎本館耐震大規模改造工事完成
	11月 4日	ホノケ山トンネル開通
平成26年	10月26日	南越前町合併10周年記念式典挙行
平成27年	3月20日	第2次南越前町総合計画策定
平成28年	3月24日	南条こども園落成
	12月 1日	防災行政無線運用開始
平成29年	2月13日	第三代町長に岩倉光弘氏就任
	3月26日	今庄駅リニューアルオープン
	4月 1日	超高速通信大容量通信開通
	4月28日	「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」日本遺産認定
平成30年	5月19日	河野地区コンビニエンスストア一体型施設落成
	5月26日	台湾台南市白河区と友好交流協定締結
	10月 5日	福井しあわせ元気国体 2018 桜橋総合運動公園野球場にて正式競技軟式野球 2 試合開催
	11月24日	今庄住民センター落成

3 人口・世帯

■人口の推移

平成 27 年の国勢調査によると総人口は 10,799 人で、福井県の人口の 1.4%を占めており、前回調査（平成 22 年）と同じ比率となっています。昭和 35 年ピーク時点の人口 18,331 人と比べて 55 年間で 7,532 人、41.1%減少しており、平成 12 年以降は 15 年間で 2,422 人減と減少幅が大きくなっています。現在のペースで推移した場合、令和 7 年には 9,222 人になると推計されています。

<人口の推移>



資料：国勢調査

※令和 7 年は国立社会保障・人口問題研究所推計準拠

<人口動態の推移>

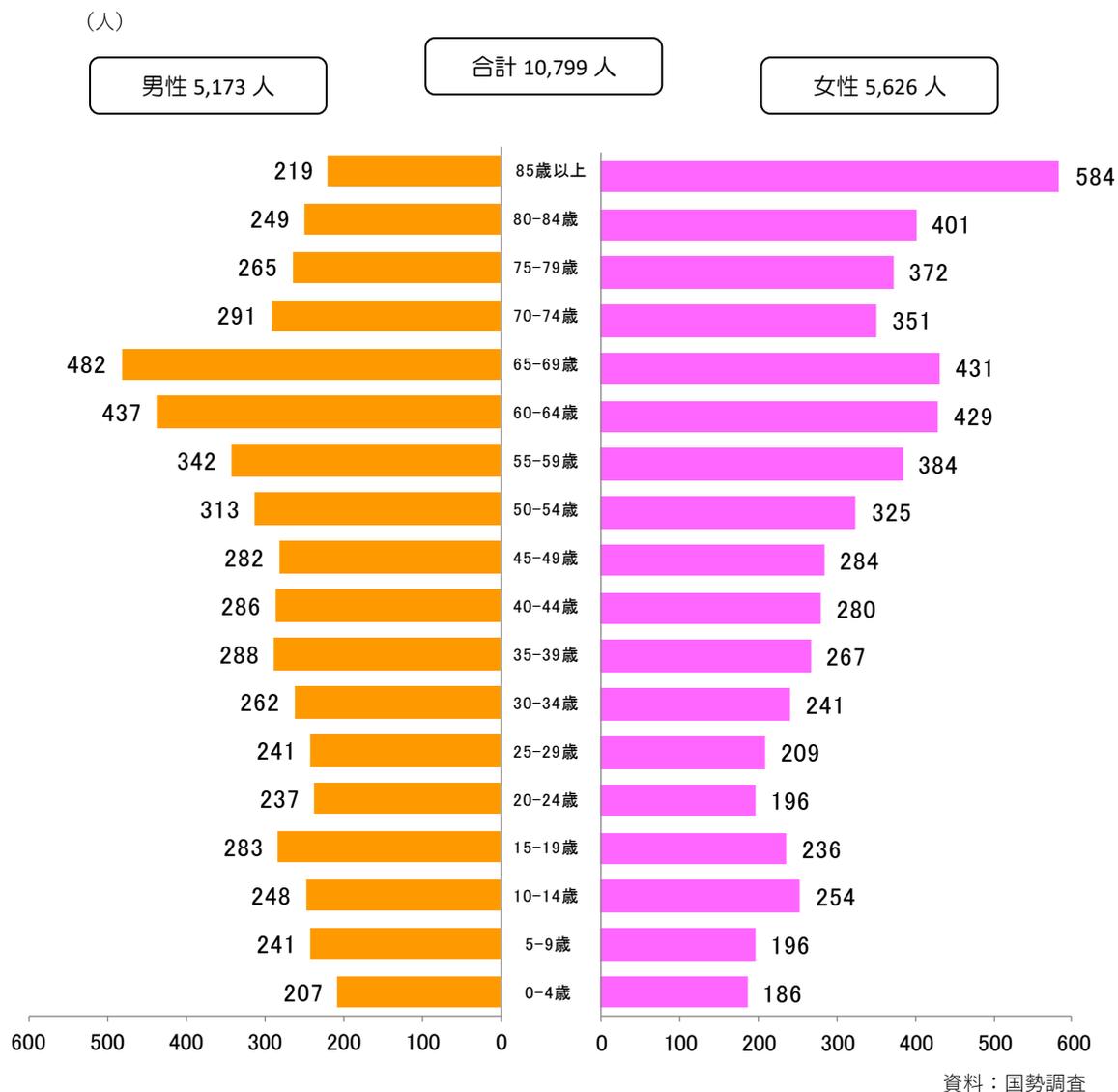
項目		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
自然動態 (人)	出生	64	82	78	60	62
	死亡	174	145	151	177	152
	増減	△ 110	△ 63	△ 73	△ 117	△ 90
社会動態 (人)	転入	273	254	170	210	172
	転出	330	297	236	238	246
	増減	△ 57	△ 43	△ 66	△ 28	△ 74
差引増減		△ 167	△ 106	△ 139	△ 145	△ 164

資料：人口動態調査(各年 10 月～9 月)

■ 年齢構成

平成 27 年の国勢調査による年齢 5 歳階級別の男女別人口構成をみると、男性では 65 歳～69 歳、女性では 85 歳以上が最も多くなっています。人口構成の傾向としては、つぼ型の分布となっており、中でも子育て世代や生産年齢人口の中心となる 20 歳～49 歳が少なく、それに伴い 0 歳～14 歳の子どもの数も減少しています。

< 年齢構成 >



■世帯数等の推移

世帯数は昭和45年以降増加傾向となり、平成12年には3,744世帯をピークにその後減少に転じ、平成27年の国勢調査では3,353世帯となっています。平均世帯人員は昭和35年の4.9人から減少傾向となっており、平成27年には3.2人となり、昭和35年と比べて1.7人減少し、核家族化が進んでいます。

<世帯数・平均世帯人員の推移>



<人口・世帯等の推移>

項目		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口 (人)	南越前町	13,886	13,804	13,616	13,221	12,274	11,551	10,799
	うち男性	6,695	6,628	6,555	6,437	5,850	5,501	5,173
	うち女性	7,191	7,176	7,061	6,784	6,424	6,050	5,626
	福井県	817,633	823,585	826,966	828,944	821,592	806,314	786,740
人口密度(人/km ²)		40.2	40.2	39.6	38.5	35.7	33.6	31.4

項目		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
年齢別人口 (人)	年少人口	2,831	2,608	2,355	2,031	1,754	1,504	1,332
	0~14歳	20.4%	18.9%	17.3%	15.4%	14.3%	13.0%	12.3%
	生産年齢人口	8,845	8,675	8,236	7,750	6,968	6,563	5,822
	15歳~64歳	63.7%	62.8%	60.5%	58.6%	56.8%	56.8%	53.9%
高齢人口	2,210	2,521	3,025	3,440	3,552	3,484	3,645	
	65歳以上	15.9%	18.3%	22.2%	26.0%	28.9%	30.2%	33.8%
世帯数	南越前町(世帯)	3,450	3,484	3,634	3,744	3,542	3,483	3,353
	平均世帯人員	4.0	4.0	3.8	3.5	3.5	3.3	3.2

項目		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
就業人口 (人)	第1次産業	1,172	933	868	506	494	406	401
	(農業・林業・水産業)	15.3%	12.3%	11.7%	7.4%	8.0%	7.0%	7.3%
	第2次産業	3,340	3,496	3,240	3,007	2,376	2,014	1,887
	(鉱業・建設業・製造業)	43.6%	46.0%	43.5%	43.7%	38.5%	34.9%	34.3%
	第3次産業	3,141	3,169	3,333	3,361	3,296	3,299	3,187
(※)	41.0%	41.7%	44.8%	48.9%	53.4%	57.2%	57.9%	
分類不能	2	2	-	1	10	52	28	
	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.1%	0.9%	0.5%	

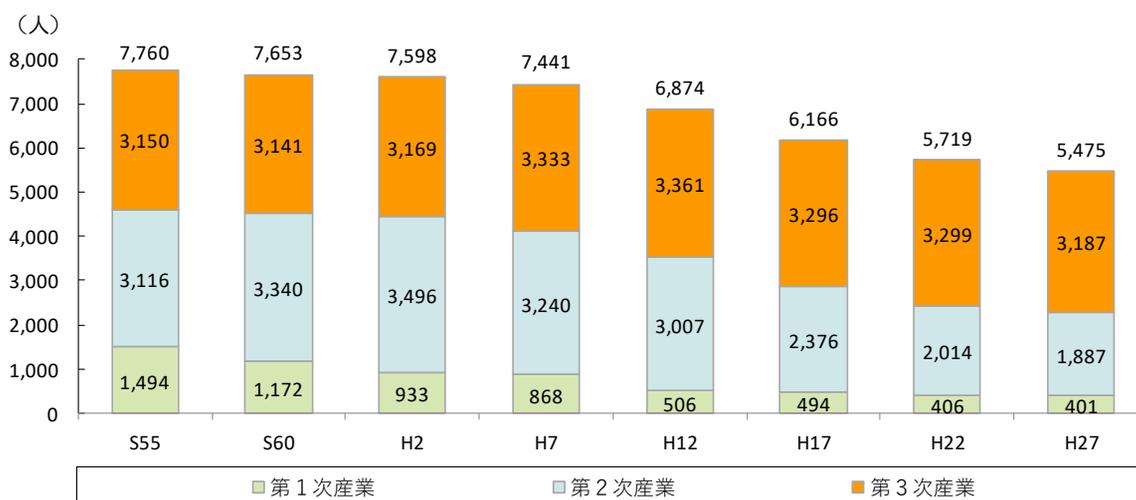
※…電気・ガス・水道業、情報通信業、運輸郵便業、卸売小売業、金融・保険業、不動産業、各種サービス業、教育、公務等
資料：国勢調査

産業別就業人口の推移

経済の国際化が進み、日本の産業構造は大きく変化してきている中、本町の産業別就業人口の推移をみると、平成27年の国勢調査では、5,475人が就業しており、第1次産業人口が7.3%、第2次産業人口が34.3%、第3次産業人口が57.9%を占めています。

昭和55年と比較すると、全体では29.4%減少しており、中でも第1次産業は73.2%、第2次産業は39.4%減少しています。一方、第3次産業は1.2%増加しています。

<産業別就業人口の推移>



資料：国勢調査

第1次産業の推移（農業の推移）

第1次産業のうち、農業は町の中央を南北に流れる日野川沿いの両岸に圃場整備された田園が広がり、稲作を中心に「花はす」や「そば」等が栽培されているほか、海岸部においては稲作に代わる振興作物として「梅」、「水仙」が栽培されています。

農地の集約、集団化を進めるほか、地域ぐるみの営農活動の取組の一環として、集落営農の法人化を推進しています。しかし、担い手の不足、高齢化、鳥獣害被害により、主要農産物の生産量は減少傾向となっています。

<農業の推移>

項目	平成17年	平成22年	平成27年
経営体数（経営体※）	702	537	376
就業者数（人）	905	587	382
平均年齢（歳）	65	71	72
水稲収穫量（t）	3,370	3,230	2,990

※経営体：産物の生産を行うか又は委託を受けて作業を行う者

資料：農林業センサス、北陸農林水産統計データ【農林水産統計年報】

■ 第1次産業の推移（林業の推移）

林業は、町土の約9割を占める山林で優良材のスギやヒノキが生産されていますが、近年の木材価格の低迷と林家の減少により森林管理が困難になっています。

<林業の推移>

項目	平成17年	平成22年	平成27年
経営体数（経営体）	222	346	149
スギ中丸太全国価格（円/㎡）	13,700	13,100	13,200

※福井県の木材価格の指標「スギ中丸太価格」を参照

資料：農林業センサス・木材統計調査

■ 第1次産業の推移（水産業の推移）

水産業は、近年の異常気象状況等により、漁業資源の減少、漁業関連施設の老朽化等の問題を抱えています。

一方、栽培漁業による資源管理型漁業の促進を進めるとともに、水産カレッジを活用した新規就業者の確保等、新たな取組を行っています。

<水産業の推移>

項目	平成15年	平成20年	平成25年
経営体数（経営体）	63	43	49
就業者数（人）	100	98	85

資料：漁業センサス

■ 第2次産業の推移

第2次産業については、工業団地を整備し数社の企業誘致に取り組んできましたが、依然、建設業の占める割合が高くなっています。

工業は、北陸自動車道今庄インターチェンジや南条スマートインターチェンジを中心に複数の企業が立地していますが、企業のほとんどが小規模で、社会情勢の動向に左右されやすい不安定要素を含む厳しい環境の中、経営されています。

<製造業事業所数、従事者数、製造品出荷額等>

項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
製造業事業所数	23	22	15		22	16
製造業従事者数（人）	608	533	434		528	458
製造品出荷額等（百万円）	9,505	9,470	9,107		10,813	8,561

※平成27年工業統計調査は不実施

資料：工業統計調査

■ 第3次産業の推移

第3次産業のうち商業については、商業集積度が低いことに加え、近年の消費者ニーズの多様化や近隣市への大型量販店の進出が背景にあり、年間商品販売額は減少しています。

観光産業については、近年、観光・レジャーの多様化等の社会的要因や、インバウンド対策の遅れなどにより、観光客の増加には至っていません。

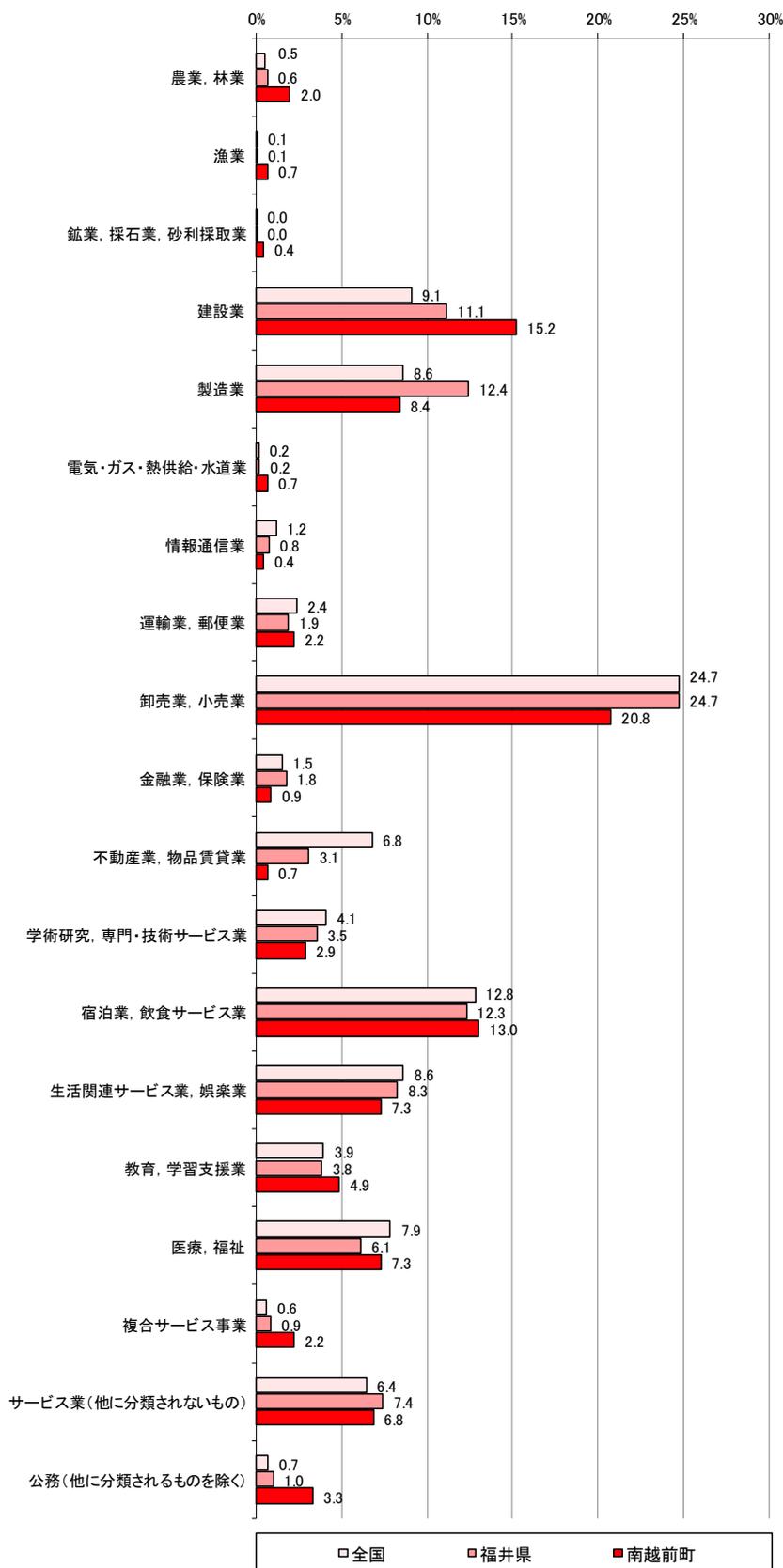
<商業事業所数、従事者数、年間商品販売額>

項目	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年
商業事業所数	148	132	118	89	84	81
商業従事者数（人）	495	457	626	325	377	344
年間商品販売額（百万円）	5,916	5,190	7,824	6,080	6,618	6,548

資料：商業統計調査

産業大分類別事業所数の全事業に占める割合では、全国および福井県と比べて、「農業、林業」や「漁業」、「建設業」、「宿泊業・飲食サービス業」、「教育、学習支援業」等の割合が高くなっています。

<産業大分類別事業所数の全事業に占める割合>



資料：平成 26 年経済センサス - 基礎調査福井県基本集計 統計表

第3章 関連する個別計画

総合計画の施策を着実に推進するため、総合計画との整合性に配慮し、各分野において次の関連する個別計画を策定し、実施しています。

<関連する個別計画>

計画名	策定年度	計画期間
南越前町まち・ひと・しごと創生総合戦略	R元年度	R2年度～R6年度
南越前町財政計画	R元年度	R2年度～R6年度
南越前町公共施設等総合管理計画	H28年度	H29年度～R13年度
南越前町地域防災計画	H18年度(改訂H30年度)	H18年度～
南越前町国民保護計画	H18年度	H18年度～
南越前町災害時要援護者避難支援計画	H20年度	H20年度～
南越前町空家等対策計画	H29年度	H29年度～R3年度
第2次南越前町男女共同参画計画(推進プラン)	H28年度	H29年度～R3年度
南越前町過疎地域自立促進計画	H27年度	H28年度～R3年度
南越前町地域公共交通計画	H29年度	H29年度～
南越前町景観計画	R元年度	R元年度～
第3次南越前町地域福祉計画・地域福祉活動計画	H27年度	H28年度～R2年度
第2次南越前町健康増進計画・食育推進計画	H28年度	H29年度～R4年度
南越前町高齢者福祉計画および第7期介護保険事業計画	H29年度	H30年度～R2年度
南越前町第3次南越前町障害者計画および第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画	H29年度	H30年度～R2年度
南越前町子ども・子育て支援事業計画	R元年度	R2年度～R6年度
いのち支える南越前町自殺対策行動計画	H30年度	R元年度～R5年度
第3期南越前町特定健康診査等実施計画	H29年度	H30年度～R5年度
第2期南越前町国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画)	H30年度	R元年度～R5年度
南越前町農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想	H26年度	H26年度～
南越前町鳥獣被害防止計画	R元年度	R2年度～R4年度
南越前町森林整備計画	H27年度	H28年度～R8年度
南越前町農業振興地域整備計画	H25年度	H25年度～R4年度
南越前町建築物耐震改修促進計画	H19年度(改訂H28年度)	H20年度～R3年度
南越前町地球温暖化対策実行計画	H21年度(改訂H29年度)	H30年度～R4年度
南越前町無雪化計画	H21年度(H29年度改訂)	H21年度～
南越前町公営住宅等長寿命化計画	H23年度	H24年度～R3年度
南越前町環境基本計画	H29年度	H30年度～R4年度
南越前町水道ビジョン	H30年度	R元年度～R10年度
南越前町橋梁長寿命化修繕計画	H30年度	R元年度～R50年度
南越前町道路除雪基本計画	毎年策定	